

8月	
10月	
11火	●保育所子育て電話相談 10:00~16:00 各保育所
12水	●心配ごと相談 13:00~17:00 ㊟ ●法律相談(要予約) 13:30~16:30 ㊟
13木	
14金	●栄養相談(要予約) 9:30~11:30 健康
15土	●司法書士による法律相談 9:30~12:00 ㊟ ●市民対話課 ㊟43・6818
16日	当番医 くぼかわ医院 ㊟42・2140 9:00~17:00
17月	
18火	●保育所子育て電話相談 10:00~16:00 各保育所 ●エイズ・肝炎相談(前日までに要予約) 13:20~ 健康 ●楽しく健康教室 13:30~15:30 ㊟
19水	●女性問題専門相談(要予約) 13:00~16:00 ㊟ ●市民対話課 ㊟43・6818 ●心配ごと相談(弁護士・要予約) 13:00~17:00 ㊟ ●1歳6か月児健診(H26.1生) 13:30~14:30 保健
20木	
21金	●子育て応援隊さろん 13:30~15:00 ㊟
22土	
23日	当番医 湊田医院 ㊟48・8149 9:00~17:00
24月	
25火	●健康相談 9:00~11:00 ㊟ ●行政相談 10:00~12:00 ㊟ ●保育所子育て電話相談 10:00~16:00 各保育所
26水	●心配ごと相談・こころの相談(要予約) 13:00~17:00 ㊟ ●法律相談(要予約) 13:30~16:30 ㊟
27木	
28金	●ベビーレッスン 13:30~15:00 保健
29土	
30日	当番医 赤穂記念病院 加里屋診療所 ㊟43・2717 9:00~17:00
31月	

9月	
1火	●保育所子育て電話相談 10:00~16:00 各保育所 ●エイズ・肝炎相談(前日までに要予約) 13:20~ 健康
2水	●農地相談 10:00~11:30 ㊟ ●心配ごと相談・こころの相談(要予約) 13:00~17:00 ㊟ ●3歳児健診(H24.3生) 13:30~14:30 保健
3木	
4金	●健康相談 9:00~11:00 ㊟
5土	
6日	当番医 シオヤ外科病棟科医院 ㊟43・4712 9:00~17:00
7月	●こころのケア相談(要予約) 14:00~15:00 健康
8火	●保育所子育て電話相談 10:00~16:00 各保育所
9水	●心配ごと相談 13:00~17:00 ㊟ ●2歳児歯科健診(H25.1生・H25.2生) 13:30~14:30 保健 ●法律相談(要予約) 13:30~16:30 ㊟
10木	●献血 9:30~11:30 ㊟ ●子育て相談(子育て学習センター) 13:30~16:00 ㊟
11金	●栄養相談(要予約) 9:30~11:30 健康
12土	●行政書士・司法書士・土地家屋調査士 無料相談 ㊟ 10:00~12:00 ㊟市民対話課 ㊟43・6818
13日	当番医 渡辺内科小児科医院 ㊟42・3884 9:00~17:00
14月	●人権相談 10:00~12:00 ㊟
15火	●保育所子育て電話相談 10:00~16:00 各保育所 ●エイズ・肝炎相談(前日までに要予約) 13:20~ 健康 ●楽しく健康教室 13:30~15:30 ㊟
16水	●女性問題専門相談(要予約) 13:00~16:00 ㊟ ●市民対話課 ㊟43・6818 ●心配ごと相談(弁護士・要予約) 13:00~17:00 ㊟ ●1歳6か月児健診(H26.2生) 13:30~14:30 保健

### 問い合わせ先

市役所(代表) ㊟43・3201	市民会館 ㊟43・7450
総合福祉会館 ㊟42・1397	地域活動支援センター ㊟48・1615
保健センター ㊟43・9855	健康・赤穂健康福祉事務所 ㊟43・2321

保育所子育て 赤穂 ㊟42・3368 塩屋 ㊟42・0323 尾崎 ㊟42・2297  
 電話相談 御崎 ㊟42・3338 坂越 ㊟48・8458 有年 ㊟49・2297  
 子育て相談(子育て学習センター) ㊟45・3290  
 青少年育成相談 青少年育成センター(随時) ㊟43・7831  
 フリーダイヤル 0120・783・115  
 消費生活センター(市民対話課内)(随時) ㊟43・7067(相談専用)  
 女性問題電話相談 女性交流センター(火~金13:00~16:00祝日除く) ㊟43・7800  
 市民生活無料法律相談 市民対話課 予約 ㊟43・6818  
 心配ごと相談 社会福祉協議会 予約 ㊟42・1397  
 犬・ねこの引取り問い合わせ 動物愛護センター-龍野支所 ㊟0791・63・5146

### 人口の動き(6月)

住民基本台帳登録者人口

世帯数	20,373戸 (+ 24)
人口	49,747人 (- 27)
男	24,048人 (- 1)
女	25,699人 (- 26)

( )内は前月比

### ◎6月中の異動

出生	28人 (+ 4)	転出	98人 (+ 14)
死亡	47人 (+ 13)	その他埋	0人 (- 4)
転入	93人 (+ 17)	その他減	3人 (+ 1)

( )内は前月比

### 交通事故発生状況

区分	6月	平成27年累計
発生件数	103 (± 0)	673 (- 9)
人身	19 (+ 3)	96 (± 0)
物損	84 (- 3)	577 (- 9)
死者	0 (± 0)	0 (- 1)
重傷	3 (+ 2)	7 (- 2)
軽傷	19 (+ 4)	101 (- 5)

( )内は前年比

### 火災・救急状況

区分	6月	平成27年累計
火災	1 (± 0)	8 (- 2)
救急	127 (- 10)	927 (+ 67)

( )内は前年比

火災発生時での問い合わせは ㊟43・6899 まで



## 忠臣蔵の散歩道 ③



### 早駕籠は赤穂へ

**早駕籠の最速記録**

この早使は3月19日午前6時ころに赤穂城へ到着していますから、江戸―赤穂間を4日半かけて走ったことになりす。これは早駕籠の最速記録と伝えられています。では、通常はどのくらいの日数

**元** 禄14年(1701)3月14日、赤穂藩主浅野内匠頭長矩が江戸城松の大廊下で高家筆頭吉良上野介義央に斬りかかりました。この刃傷事件のことは、伝奏屋敷に詰める浅野家臣にも伝えられました。この重大事を一刻も早く元赤穂に知らせねばなりません。早水藤左衛門・菅野三平の乗った早駕籠(第1の早使)が14日午後5時前に、赤穂へ向けて江戸を発しました。事件の第一報です。内容は「14日に殿様が吉良殿と喧嘩され、田村右京大夫様へお預けになった」と、口頭で「札座の儀をよろしく」というものです。この時点では、幕府から改易の命令は明確に出されていないはずですが、浅野家の江戸方では「当然、城を明け渡すことになる」という感触を持っていったのでしょう。

**夜も走った早駕籠**

早駕籠は昼間も夜も走ります。をかつて、江戸―赤穂間を走ったのでしょか。1つの例として、元禄6年(1693)12月に、浅野内匠頭は備中松山城の受取りを命ぜられました(受取りは元禄7年2月)。この時は富森助右衛門が早駕籠で江戸から赤穂までを六日間走っています。川を渡る際の水量などの気象条件や、大名行列に出会うなど、その時々によって走行の条件が異なりますが、駕籠を早く走らせるには人足のリレーの手際よさにかかるといってもよいでしょう。なお、当時すでに、朝廷と幕府の急用以外には東海道や山陽道などの主要な街道で馬を走らせることは禁じられていました。

次いで浅野大学(内匠頭の実弟で養子からの足輕飛脚が赤穂へ到着し、「騒動しないよう」老中から仰せ付けられたことを知らせる書面をもたらしました。さらに「殿様御生害(切腹)を知らせる第2の早使、原惣右衛門と大石瀨左衛門が14日夜に江戸を出発、19日夜に赤穂城へ到着しました。

重大事には出費を惜しまなかった浅野家が、勅使饗応役や吉良上野介に対して金品を惜しんだとは考えにくいのです。(高光寺住職・赤穂市文化財保護審議会委員 三好一行)

駕籠かきは交代しますが、乗り手は到着するまで乗ったままです。駕籠かきが交代する際に少し休憩できたかも知れませんが、食べた眠ったりはとてもできません。食べたら吐くし、眠ったら舌を噛みます。映画やテレビドラマで早使が、歩くこともできない状態で大石内蔵助に会うシーンは、大袈裟ではありません。ではなぜ、浅野家ではスムーズに早駕籠を乗り継ぐことができたのでしょか。原惣右衛門がお預け中に語ったところでは、浅野家では毎年駕籠屋に付届けをしているから、このような素早い走らせ方ができたということです。そのうえ早駕籠に乗る際には20両今の200万円ほどの金を用意しています。浅野家では、火急の際には金に糸目をつけませんでした。